

なぜ私たちは教育を受けるのか

A5班

1 序論

現在、世界では教育を受けたくても受けられない子供達がいる中、教育を当たり前のように受けられるのになぜ勉強をしなくてはいけないのかと考えている子供もいる。教育が私達、または社会に与える影響は一体なんなのだろうか。私達は教育を受ける意味について考えてみることにした。

2 材料と方法

①「ブラジル、日本、イエメン、アメリカ」を対象に教育状況を調査

②三高生の意識アンケート調査

・対象:2年普通科185人

「なぜ教育を受けていると思うか」

「生きる上で本当に必要な学力はどこまでか」

「将来役に立つ教科をひとつ選ぶとしたら」の三項目

⇒現代の高校生の教育に向き合う姿勢を理解

③(1)「私たちはなぜ教育を受けるのか」への答えを提示

(2)これからの教育の在り方を提案(※GSフェスタ後)



3 教育現場の今

☆先進国

- ・電子機器を盛んに使用した授業
- ・教材・学費の無償化
- ・施設の充実
- ・高い水準を誇る識字率

☆発展途上国

- ・青空教室(施設不足)
- ・教材不足(120人で1冊の教科書使用)
- ・義務教育はあるものの種々の理由から通えない生徒
- ・所得が少ない⇒裕福な人しか高次教育を受けられない現状

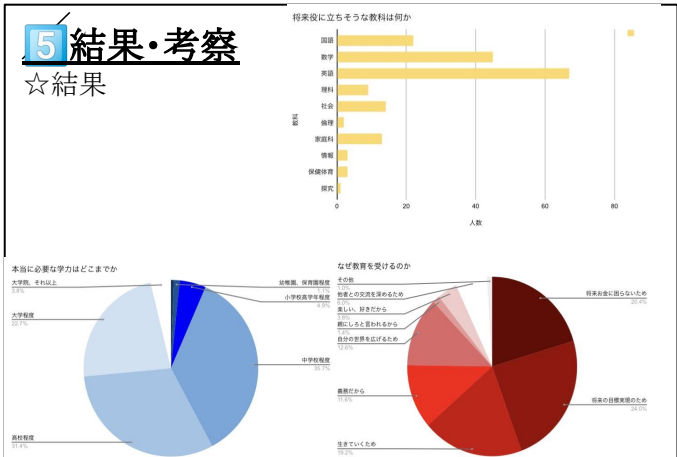


4 教育と経済の関係

- ①全ての女性が中等教育を受ける→子供の死亡は79%減
 - ②1年間学校教育を受ける→仕事の収入が10%増
 - ③基礎的な読解力を身につけられる→1億7100人が貧困から抜け出せる
- ▶教育を受けられるかどうかで国の経済状況も変わってくる!

5 結果・考察

☆結果



☆考察

- ・私たちが勉強する理由
お金が欲しい→働く→良い大学・高校に入る→勉強が必要
- ・義務教育だけだと...
勉強させられる→学ぼうとしない→社会がまとまらない
- ・高校、大学、生涯教育を受けたら...
自ら進んで勉強→教養ある人が増加→社会が多様化以上より、「私たちはなぜ教育を受けるのか」という問いの答えは簡単に定義できるものではないが、全て"社会の多様化"に関係するものであるということがわかった。

6 結論

教育状況に差

先進国 ⇄ 途上国
「将来生活に困らないように」
(途上国)

- ▶教育を受けられない
- ▶経済発展しない
- ▶良い職に就けない
- ▶指導者育たない

参考文献

<https://www.mext.go.jp>

<https://www.unicef.or.jp/news/2019/0133.html>